

高退協ニュース

高退教
事務局

2008・7・14

NO 153

〒780-0850 高知市丸ノ内2丁目1-10

高知県高等学校退職教職員協議会
教育会館内高教組気付

TEL 088-1822-16822
01650-12111893

「勤評闘争6・26」開催

50周年記念集会」開催

「勤評闘争六・二六、五〇周年記念集会」開催
六月二十八日(日)午後二時から高知城ホールで、標記集会が開催されました。高退協から約四十名参加。五十年前の六月二十六日高知県教組は、「勤評撤回」を求め、全一日休暇闘争に突入し、組合員の九十九・六%(高教組約七千人が、県下各地から高知市城西中学校校庭に参集しました。

この歴史的な日を記念するため集会をしようと言ったこと、二月十三日、県教組、高退協、勤評の会、六団体の代表が集まり、実行委員会を結成。その後、四回に実行委員会と三回の事務局会を持ち、①記念冊子の発行②記念のつどいとレセプションを六月二十八日に開催を決定し、準備を進め、当日を迎えたわけです。

森全教書記長が紹介されメッセージを述べ、病欠欠席の東元当時県教組委員長メッセージを發表しました。続いて勤評闘争のスライドが掛橋高教組分部長のナレシオンで上映されました。次に北岡退協分部長の司会で、「リレートーク」となり、西森稔さん、叶岡淑子さん、現職教員八名が、各自の体験とこれからの関心の決意を熱く語りました。

最後に中田県退教協会長の閉会宣言で四時過ぎに第一部を終りました。午後五時から第二部のレセプションが約一八〇名の参加で賑やかに持たれました。まず、センター合唱団の「子どもを守る歌」でスタート。米満高教組副委員長が開会挨拶。徳平母親連会長、窪田人権連副会長、松村全退教副会長が祝辞、門脇元退教組委員長、乾杯の音頭で祝宴となり、参加者一同が勤評闘争の思い出や、近況報告をしながら杯を交わし、最後に全員が腕を組み大きな輪を作り、「緑の山河」「頑張ろう」を大合唱しました。西山県教組書記長の閉会挨拶で約二時間の楽しいレセプションを終りました。

原稿募集!

高退協ニュースをもっともっと会員交流の場にしませんか? できるだけ多くの方の投稿をお待ちしています。定番の「草声老語」「老眼鏡」「旅のしおり」「私の健康法」などにもどしどしどうぞ。そのほか地域での活動・私の趣味・県外(国外)での暮らし・今思うこと(怒り・喜び・意見等)など書いていただけたら、と思います。現行の4ページでは足りない!6ページ必要! など嬉しい悲鳴をあげたいものです。編集係より

高校入試制度をめぐる昨今の情勢

高教組 教文担当 掛橋佐和

六月五日、今年度の第一回県立高等学校教育問題検討委員会が、六月二日には検討委員会の第一回専門部会が開かれました。この検討委員会は、その時々々の高校教育をめぐる問題について検討協議をするため、一九七八年設置されました。入試制度、通学区域、高校多様化・再編などもこの委員会が検討され報告されたものを、県教委が具体的な施策としてすすめてきた経過があります。

今回の検討委員会で狙い通りに上っているのは、「県立高等学校入学者選抜制度の見直し」、「学区制」、「併設型中高一貫教育の六年間の検証」です。このような重要な課題をたつた三回の全体会、二回の専門委員会での議論するというのは拙速すぎです。県教委によれば、「現在の委員の任期が八月で切れるから」というのが主な理由のようです(委員の任期は二年、ただし再任を妨げない)。委員は二五名、教育・学校関係者だけでなく「学識経験者」と区分された方々も一緒に話し合おうというのですから大変です。「学識経験者」委員と県教委高等学校課の質疑応答に時間を取られることもしばしば、そんな中では学校関係者も発言がしづらい様子で、県教委主導で議論がすすんでいる感も否めません。そして、新聞等でも大きく報道されたように「前期選抜に一律教科の検査導入」と「学区制廃止、全県一区」の方向性が大きく示

されました。高教組は、県教委に意見表明の場を求め、専門部会には各教職員団体からの意見書が資料として配布されました。県教組・高教組の意見は以下のとおりです。

- 1 県立高等学校入学者選抜制度の見直しについて
 - 前期選抜に「教科の検査」を一律導入した場合、「生徒の個性」「学ぶ意欲」「各高校の特色」を重視する前期選抜の趣旨との整合性をどう図るのか。
 - 前期選抜に「教科の検査」を一律導入するのであれば、前期選抜・後期選抜の一本化を視野に入れた検討をしてはどうか。その際、現行制度の「受験機会の複数化」を支持する意見も考慮に入れる必要がある。
 - 入試制度の「見直し」においては、入試業務に伴う中学校、高校の教職員の負担増についても検討がなされる必要がある。
 - 学区制について
 - 「全県一区」はさらなる高校の序列化、統廃合の加速化、生徒・保護者への負担増などが懸念される。
 - 「学区見直し」にあたっては、教育の機会均等、生徒・保護者の地理的・経済的条件、高知県の地域づくりなど、総合的な視点からの慎重な検討が求められる。
 - 3 併設型中高一貫教育の検証について
 - 入学者の決定方法については慎重に検討すべきである。
 - 教育課程の見直し、教職員間の連絡調整、生徒の学習意欲・目的意識を支えるシステムの改善が必要ではないか。
 - 併設型中高一貫教育の必要性について再検討すべきではないかとの意見もある。
- 新明解国語辞典で「猫の目」を調べると、「猫の目のように変わる入試制度」という例文が出てきます(調べた自分がびっくりしました)。それはさておき、子どもにとつても、保護者にとつても、地域住民にとつてもよりよいベストな入試制度というものは存在しないかもしれない、けれどもそれを追い求めて県民レベルで意見を出し合い、改善を行っていくことはとても大切なことではないでしょうか。

お知らせ

温泉昼食旅行
期日 2000年10月15日(水)
行き先 赤岡町絵金蔵、野市町高知黒潮温泉
費用 3000円(一人当)

親睦旅行
期日 2000年11月6日(木)~7日(金)
行き先 大阪府堺市周辺 仁徳陵、茶室、妙国寺 千利休屋敷跡、与謝野晶子生家跡等 刃物伝統産業会館
費用 3,4000円(一人当たり)

* 温泉昼食会、親睦旅行の詳細は案内を同封します。

老眼鏡

『蟹工船』を読んで

話題になつてゐる蟹工船を改めて読んでみた。まさしく生命すら奪われる過酷極まりない労働条件のもと、会社の利潤と国策という大儀のため酷使される労働者の姿は、今日の派遣労働者など低賃金悪条件下の労働環境と『あれ！同じじゃないか』と若者が共感し、読まれているというところがよく納得できる。

その結末では、漁夫たちが連帯し、初めて、団体交渉やストライキに取り組む経験をしたこと。失敗はしたが、この未組織労働者の団結と闘争が、他の船にも広がっていったことで、今後の展望と光を示唆している。

このことは、今日の私たちへのメッセージにも受け止められる。
秋葉原の事件を起こした青年が、「もし、青年ユニオン運動などを知っていたならば」と孤独のなかで自爆した彼や犠牲者の死が悔やまれる。小林多喜二は、苦学して小樽商高を卒業後、拓殖銀行に勤務。その傍ら命を賭してプロレタリア文学を次々発表。その後の思想統制や非法法活動下、最後は、街頭演説中、逮捕され、その日のうちに凄惨な拷問で獄死する。社会的に虐げられた人々への深い思いや愛情を持った青年が、若千30歳で命を断つことになった日本の暗黒の時代を忘れてはならないと再び思った。
(田村)

旅のしおり

上高地で思ったこと

山への憧れや歩く事への興味を以前からずつと持っていたので体力、気力の衰えを度々自覚するようになった近頃、ふと若い頃何度か訪れたことのある上高地への旅を思い立ちました。保育園の孫施設にいる母のことそして飼いだわりの最大の課題を強いこたわりの最大限の譲歩で何とかクリアールし、その結果往復夜行バスの強行な旅になりました。年間百八〇万人が訪れるという上高地でも、さすが六月中旬は、真夏のシーズン前のささやかな静けさ？で寒くも熱くもなく雨の心配はあるものの、リタイア組にとつてはベストシーズンです。何よりもツアー料金が格安に設定されているのも好都合です。(上高地の山宿に泊まる旅)は添乗員、現地ネイチャーガイドを含めた総勢一八名で、そのほとんどがリタイア組です。

朝大阪を「R」で出発するとお昼過ぎには上高地へ到着します。早速大正池や田代湿原、ウエストンの碑を見ながら梓川沿いの自然研究路を歩きまわりました。
翌日は今回の旅のメインである河童橋から明神池を経て徳沢へ行き、そこから横尾へ往復す十五五kmのハイキングです。平坦な道をガイドさんの説明を聞きながら歩きました。煙を上げる焼岳、

穂高連邦の残雪、井上靖の小説(水壁)の舞台となった岩峰もくつきり見ることが出来ました。

梓川辺のケシヨウヤナギの葉音を聞いたり、カラマツ・シラビソミズメ(梓川の語源)等の大木が茂る樹林帯では、癒しの効果があるというピトレンチッドの香気を深呼吸したり、白花のニリンソウの群生やレンゲツツジの紅花にすっかり魅了させられました。

上高地一帯は国立公園の中でも規制が最も厳しい特別保護区に指定され、環境保全に熱心に取り組みんでいます。ゴミは持ち帰りのためゴミ箱はありません。日本一美しく、そして日本一綺麗でないという富士山のようにならないための工夫が各所に見られるようにレンジャーも巡回しています。

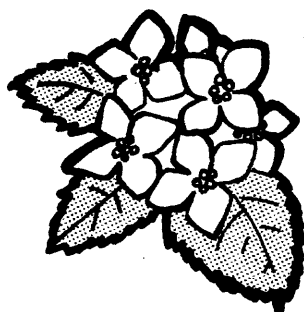
それでも最近人間に馴れた野生猿が繁殖しすぎてウバユリの食害も問題になっていようです。そして温暖化の影響か、これまで上高地にはカモシカがいなかったのに近年松本周辺まで日本鹿が見られるようになり後は時間の問題だと言われていました。

野生動物は自然の暮らした中での餌の取り方や危険に対する知識を学び、厳しい環境の中でも生きる力が出来るものです。餌を与えるとそれに頼ってしまい野生の本能を失います。餌に頼った動物の子どももまた餌に頼るようになり自然の中で生きる事が難しくなりま

があり、奈良盆地を中心に「まほろば」を見渡すことができた。

さて「やまのべのみち」であるが、どうして山裾に造られたのであろうか。現在の路線のように盆地の中心部に造れば、山坂もなく直線的にできようものを、おおいなる疑問である。歩きながら考えた。どうも古代の奈良盆地は湿地帯ではなかったか。美称「豊葦原」からも想定される。地勢からみて農耕地に仕立てるには大掛かりな治水工事が必要ではなかったか。古い集落は山麓に点在している。それも環濠集落が多い。これらを結んで、この官道が形成されていったのであろう。

す。』という説明はどこか人間界にも通じることのような気がしてなりません。(渡辺)



活動日誌

【五月】

- 三日 憲法集会
- 八日 事務局会
- 二一日 オケイン入港
- 二八日 県人権共闘事務局会
- 三〇日 平和行進

【六月】

- 四日 県高齢者総会
- 四日 全退教総会
- 九日 事務局会
- 一五日 革新懇総会
- 一八日 四プロ代表者会
- 二八日 勤評闘争五〇周年記念集会

岡村武雄さん 五月二四日逝去
山北不二男さん 六月二九日逝去
慎んでご冥福をお祈りします

米寿お祝い
西内 満夫さん
平野日出男さん
濱田 昌俊さん
寺村 芳さん
渋谷 巖さん
「長寿をお祝いします」

最終日には、若草山に登り、来年の旅は関東方面ということを確認、京都駅で解散。かくして今回の旅は終了。

【うば捨て山】の中止

五月七日、保険料の件で市役所に向いた。年金から天引きされる額が不明である。巷間、現行より高くなる、安くなるの二説が渦巻いている。筆者の場合市役所の算出では、年間六万三千円程度減額されるようである。しかし、政府の狙いは、先ずは高齢者を別枠の医療保険に囲い込み、診療報酬も別建てにすることで、安上がりな差別医療を押しつけることである。この「死への特急」を許してはならない。

桜花爛漫の大和路へ

四月の初め、恒例の一族郎党の旅に出た。行き先は「山辺の道」。一日目は、一人で白毫寺を尋ねた。奈良市の南郊にあるこの古寺は天平初期の創建で、僧道照が一切経を持ち帰ったところ。境内からの眺めは素晴らしい。

翌日は天理から三輪まで十三区の「山野辺の道」を辿った。天気は上々、周田の桜は満開、行楽の多くの人々に出会った。この道は日本史に登場する最古の官道であると聞く。私自身は以前に歩いたことがあるが、大きく変貌していた。「東海自然歩道」に繰りこまれ、道標が完備されて迷うこともない。前回は、と

秦泉寺残月日記

坪井 幹之

が、とくに関心の深い三輪の大神社に触れる。解説書には「わが国最古の神社で三輪山がご神体、本殿はない。日本神道源流の一つで酒造の神様として信仰を集めている」とある。境内の小山に展望所

相撲ミニ知識 (八十三)

林 勤

相撲協会八十年を振り返る

七、昭和四十六年～五十年
昭和四十六年

○一月 大鵬 史上最多の32回優勝。これが最後の優勝となる。

○五月 北の湖 (現相撲協会理事長)、当時史上最年少17歳11月の十両昇進。

○五月 大横綱大鵬笑顔の引退発表。

優勝最多32回、六連覇二回 (二位) 昭和35年新入幕から46年引退まで幕内在位中毎年優勝、全勝優勝8回 (双葉山と二人のみ一位)、一代年寄「大鵬」となる。

○十月 第51代横綱玉の海 (27歳) 急逝。玉の海は昭和45年一月場所後52代横綱北の富士と同時昇進。

足腰が良く、四つ相撲に安定した型を持ち、双葉山の再来かと言われたが、27歳の最盛期に急逝したことは、柏・鵬時代に続く北・玉時代の到来を期待されていただけに惜しまれる。尚、現役横綱の死は、昭和13年12月4日の第32代横綱玉錦・本泉出身・以来で史上四人目である。尚、奇しくも玉の海は玉錦の直系の孫弟子に当たる。

昭和四十七年

○七月 前頭四枚目高見山が十三勝二敗で初優勝。初の外国力士優勝である。

○十一月 人気力士輪島・貴ノ花揃って大関に昇進。

昭和四十八年

○三月 53代横綱琴塚誕生

七月 54代横綱輪島誕生

○七月 関脇大受が初の三賞 (殊勲・敢闘・技能賞) を独占し、九月場所に大関昇進。

九月 この場所 新入幕の大錦が三賞を独占。

昭和四十九年

○一月 元横綱栃錦の春日野理事長誕生。

○七月 場所前に横綱琴塚、七月場所中に横綱北の富士引退。

○九月 横綱北の湖誕生 (55代横綱・当時最年少21歳2月)。

昭和五十年

○三月 大関貴ノ花と横綱北の湖が13勝2敗で優勝決定戦。貴ノ花が寄り切って初優勝。

○十二月 財団法人日本相撲協会設立五十周年記念の年 (丸の内東京会館で記念式典)。

俳句

四月一九日 土曜
高知城周辺

合田 青幹

追憶の庭の榎の葉す
反り返る泰山木の夏落葉

田所たねを

春愁や面炮の頃の通学路
あらしてふ山吹二輪まだ蓄

吉本 伸秋

甲矢一閃新樹の光弾きけり

満天星の鈴百千の静寂かな

中内 英明

肥後椿一花浮べて月見石
花時を金銀木と言いつべし

中内みち代

逝く春や掛け声弾く武道館

春障子ぱんと張りたる寅彦居

小笠原 さちを

水底の影とつながる糸柳

石樋や下につかへし

さいたづま

五月十九日 土曜

夜須町 手結

合田 青幹

薫風や生き放題に生きるべし
汽車が汽車待つ単線の日永かな

吉本 伸秋

真橋葛石組高き古港

断崖の風に迫り出す花海桐

中内 英明

小港や浦に二軒の鯉織

中内みち代

磯畳底まで透けて卯波寄す
花鳥賊漁終へし鳥賊籠干し並ぶ

小笠原さちを

鶯や皆港向く漁師町
海胆いくつ残してをりぬ忘れ潮

短歌

娘の東京マラソン

榊原忠彦

東京マラソン完走せしとの娘の
電話、あの三万人、まさか居し
とは

四十二キロは楽しかりしと娘の
話聞きつつ眺むる写真数葉
(久しぶりに一寸帰道)

各名所見つつ走りて五時間の今
ゴールイン両手をあげて

バロオンさん

山本晶子

二度の大戦を悔い生まれたる
EUの理念諾いており

EUの理念は平和・環境保全バ
ロオンさんは熱く語れり (EU委
員長)

資料読み込み鋭く迫る国谷氏の
「グローブアップ現代」を見る

なだれ許さじ

叶岡淑子

保険料うむを言わさぬ天引きに
戦費調達の悪夢の上よる

ヒラ弾圧・上映妨害・会場拒否、
物言えぬ世へのなだれ許さじ

草の根の「九条」の輪が世界へ
と広がる夢に希望をつなぐ

10冊

「雑草の」抄

小澤 幸泉

共働き多忙多言の罪を負い

高齢期生活いろいろ地図さがし

サフランの花をさがしに誕生日

主義主張やめて拍手がなりやま
ず

結び目を結びなおして高齢期

雑草の強さが消えた城下町

夏期学習会の

二案内

恒例となりました夏期学
習会を左記の日程で行いま
す。多数の参加をお待ちし
ています。

日時 八月二十一日 (木)
午後二時から
場所 高知城ホール

講演内容

1. 「金がない」
とは言わせない
— 社会保障を支える —
埋蔵金を探る —

講師 島本理夫さん
2. 「南半球ひとめぐり」
講師 小島真子さん